

岐阜聖徳学園大学大学院

経済情報研究科 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

経済情報研究科では、高度な情報技術や経済及び経営に関わる専門的知識の修得を基礎に、修了後に関連分野において活躍できる専門的職業人及び研究者を養成することを目的としています。この目的を達成するために、次のようにアドミッション・ポリシーを定めています。

1. 求める人物像

（共通）

- ・ 入学目的や将来計画が明確で意欲旺盛な人
- ・ 今後の職業や進路に資するために高度な技術や知識をより深く研究しようとする人
- ・ 実務や経験で得た知識を高い見地から整理統括して活用発展させようとする人
- ・ 社会のグローバル化の中で活躍を希望する留学生

（博士課程（後期））

- ・ 博士課程（前期）で修得した知識を基礎として、博士号の取得を目指したコースワークやトレーニングを行いながら、専門的研究を発展させようとする人

2. 入学までに身につけてほしいこと

- ・ 経済・経営・情報に関する基礎学力

3. 入学者選抜方法

（博士課程（前期））

〔一般入試〕

成績証明書、履歴書により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力を重点的に評価し、小論文の学力検査、面接により選抜します。

〔社会人特別選抜入試及び岐阜県公立学校現職教員特別選抜入試〕

成績証明書、履歴書に加え、出願時の課題論文の論述、社会人経験により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力、豊かな表現力を重点的に評価し、面接により選抜します。

〔留学生特別選抜入試〕

成績証明書、履歴書に加え、日本語の運用能力により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力、語学力を重点的に評価し、小論文の学力検査、面接により選抜します。

（博士課程（後期））

〔一般入試及び社会人特別選抜入試〕

成績証明書、研究成果報告書、研究計画書、履歴書により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力を重点的に評価し、英語資格・検定試験のスコア、口頭試問により選抜します。

〔留学生特別選抜入試〕

成績証明書、研究成果報告書、研究計画書、履歴書に加え、日本語の運用能力により本研究科における学修・研究に耐えうる基礎的知識、論理的な思考力、語学力を重点的に評価し、英語資格・検定試験のスコア、口頭試問により選抜します。